



左記のQRコードでホームページにアクセス！



### <県政等の動きトピックス>

#### ●県議会インターネット動画配信システムを改良(2/19より)

県議会のインターネット動画配信システムは、これまで閲覧環境がパソコンのみに制限されており、動画閲覧者の利便性向上を図るため、スマートフォン・タブレットも含め閲覧が可能となるようシステムを改良し、2月定例会開会日の本会議のライブ中継から実施されました。なお、録画映像(オンデマンド中継)についても併せて閲覧が可能となるようデータ変換を実施しました。

#### ●伝統文化振興「県議会きもの議会」を実施

昨年に引き続き、令和2年2月28日(金)の2月定例会一般質問初日において、「県議会きもの議会」が行われ、**伝統文化振興のために**、和装で議会に臨みました(写真上)。

#### ●大内県議が金沢県議会議長に辞職届提出

次期知事選(来年2月13日任期満了)に向けた自民党県連の公募に応じた大内理加県議(山形市区)が、県議会最終日の3月18日に金沢忠一議長に**辞職願を提出**し、本会議で許可されました。

#### ●石黒党県議が副議長選で14票獲得！

任期1年の慣例により鈴木副議長(東村山郡区)が申し出た辞任を県議会で許可し、副議長選(総投票数42票)で最大会派自民党の森谷仙一郎県議(天童市区)が28票、**県政クラブの石黒党県議(酒田市・飽海郡区)が14票を獲得**。第65代県議会副議長には森谷氏が選任されました。

#### ●山形県議会の委員会正副委員長及び所属委員等が決定しました

県議会は3月18日の本会議で委員会所属変更を行い、各委員会で正副委員長を互選しました。所属変更に伴い、常任委員会では**建設常任委員会(委員)**、特別委員会では**産業競争力強化・担い手確保対策(副委員長)**の重責ポストを拝命したところであります。特別委員会では委員長を補佐するとともに、政策提言に向けた運営に誠心誠意努力して参る所存です。

# 明るい未来の創造に向けて！

山形県議会議員(鶴岡市選挙区)

## 県政レポート No.4

じゅん

## 山形県議会議員 高橋 淳



### ◆山形県議会2月定例会閉会 /一般会計補正予算など80議案可決

一昨日の3月18日に山形県議会2月定例会が閉会致しました。

2月県議会定例会については、大型倒産「㈱大沼関連再就職等支援本部」の設置・運営支援と、「山形県暮らし安心資金」の貸付の予算。加えて、小雪・暖冬等の影響により、県内の一部の宿泊施設においてキャンセルがでている関係から、2月末から約1か月間を対象にした宿泊料割引支援の予算計上と、新型コロナウイルス感染症への対応のほか、水際対策としての職員用防護服等の配備と感染患者の発生に備えての病原体検査、移送経費などを追加しました。

また、政府の補正予算への対応として、防災・減災・国土強靱化の強力な推進や、農林水産業の成長産業化と輸出力強化対策などの公共協事業費を追加し、執行実績等に伴う補正、一般会計の2月補正予算と繰越明許費の補正について、知事提出議案80議案を可決いたしました。

なお、議員・委員会提出議案については、「新型コロナウイルス感染症対策の強化」及び「持続可能な除雪体制の構築を求める意見書」などです。

### ◆令和2年度人事異動及び組織機構の改正について

令和2年3月19日に山形県では、第4次山形県総合発展計画に掲げる、「次代を担い地域を支える人材の育成・確保」、「競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化」、「高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化」、「県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり」、「未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用」の5つの政策を柱に沿った各種施策を力強く推進し、「**人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさ幸せを実感できる山形**」を実現するため、令和2年4月1日付けでの人事異動及び組織機構の改正を発表いたしました。※3/20各新聞の朝刊等に掲載されています。

### ◆主な組織機構の改正

#### 「令和」の新たな時代における県づくりの推進

今後の県づくりの指針となる「第4次山形県総合発展計画」の令和の新たな時代にスタートすることを契機に、「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさ幸せを実感できる山形」の実現に向け活力溢れる県づくりを目指していくとともに、県民の分かりやすい組織づくりを行うため、「企画振興部」を『みらい企画創造部』に、「子育て推進部」を『子育て若者応援部』に、「商工労働部」を『産業労働部』に改称しました。

また、県内各地での人口減少、特に将来を担う若年層等の社会減対策として移住・定住施策を強力に推進し、人口減少を抑制しながら地域の活力を向上させるため、『移住・定住推進課』を新設し、そして、人口減少や人手不足が深刻化する中、全県一体となった産学官及び市町村との連携によるオール山形で産業・経済発展の新たな担い手となる国際人材を呼び込み、県内定着に向けた取組みを強力に推進するために、『国際人材活躍支援課』を新設しました。

農林業においては、農政企画内に『専門職大学整備推進室』を新設し、次世代の農業・水産業を支える研究拠点の機能強化を図るため、農業・水産業関係試験研究機関を「試験場」から『研究所』に改称しました。

## ●議会議棟へ「体表面温度チェッカ」の設置

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、3月16日(月)から議会議棟に「体表面温度チェッカ」が設置されました。機器の使用については、「**息苦しさがある**」、または「**倦怠感が続いている**」などの自覚症状がある方に対し、体温確認にご協力を頂いております。顔をカメラに近づけて(約15cm)、**3秒で体表面温度の測定が可能**となります。赤ランプが点灯した場合、発熱(37.5℃以上)の疑いがあるため、入室を遠慮いただくようにしています。

## ●東南置賜地区の県立高校再編整備計画(概要版)が策定されました

県教育委員会は、平成31年3月の「東南置賜地区の県立高校再編整備計画(骨子案)」の公表後に、更に協議・検討を進め、**令和8年までの再編整備を策定し、3月17日に公表**いたしました。

◇令和7年度、米沢工業高校と米沢商業高校を統合し、米沢産業高校(仮称)を開校。

◇令和8年度、定時制を夜間から昼間に移行。

◇令和4年度に米沢商業、令和5年度に高畠、令和6年度に置賜農業を1学級削減。

なお、令和8年度以降の再編整備については、更なる少子化の進行に対応するため、高校の教育環境の充実・向上といった観点から、広域にわたる再編整備が必要となります。「山形県中高一貫教育校設置構想(平成21年6月策定)」では、内陸地区と庄内地区にモデル校を設置し、実践を検証した上で、将来的には県内4学区への設置を検討するとしています。

庄内地区については、鶴岡南高校と鶴岡北高校を統合するとともに、県立中学校を新たに設置する計画を示し、令和6年度に併設型中高一貫教育校の開校を予定しておりますが、将来的展望を見据え、著しい少子化の進行に歯止めをかける必要があります。

## ●令和2年地価公示結果(山形県)発表！

国土交通省は3月18日、今年1月1日時点の県内の公示地価を発表。住宅地の対前年平均変動率は0.1%となり、**20年ぶりに上昇**に転じた。商業地の対前年平均変動率は▲0.5%で、依然として下落しているものの、**下落幅は10年連続で縮小**。また、工業地の対前年平均変動率は0.9%となり、**3年連続で上昇**しました。

## 発行人:山形県議会議員 高橋淳

<高橋淳事務所> 発行日:令和2年3月20日  
〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡100-1  
TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732  
Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

<山形県議会/県政クラブ執務室>

TEL:023-630-3211(4階受付)



※皆様からの県政に対するご意見をお待ちしております。

## ◆県議会定例会「予算特別委員会3/6」高橋淳 県政クラブ総括質疑

### 1 結婚支援の取組み状況と成果について(子育て推進部長)

#### <質問要旨抜粋>

山形県知事を会長とし、山形県、県内全市町村、各関係団体で2015年4月に設立した組織の「やまがた出会いサポートセンター」があるが、「出会い支援サービス山形センター」、「出会い支援サービス庄内支所」の運営状況、会員数の傾向、そして、セミナーや交流イベント、マッチングの実績などはどのようになっているか。また、登録会員に対するフォローアップや更なる成婚の拡大に向けた取組みについての考え方について。

### 2 住宅における地震対策について(県土整備部長)

#### <質問要旨抜粋>

住宅の補強や耐震化については、県においても平成23年度から実施している住宅リフォーム総合支援事業の中で、簡易な住宅の補強や住宅全体の耐震改修工事に補助金を交付しており、県外から移住した方への支援の拡充や空き家を取得してリフォームする支援内容の優遇、一般的なりフォーム工事と耐震改修工事向けの補助金併用など、全国的に見ても「素晴らしい内容」となっている。大規模な自然災害に備えて、県民がこのような支援制度をより積極的に利用すれば、建設業や板金工などの関連工事が増加し、地域経済が活性化するとともに、住宅被害の軽減が図れると思うが、住宅の耐震化に対する県の取組みの現状と今後の展開について。

### 3 LCCの利用拡大と庄内空港の機能強化について(企画振興部長)

#### <質問要旨抜粋> ※3/7山形新聞に大きな見出しで掲載されています

平成29年に国際チャーター便誘致のために山形空港では、国内線と国際線の導線を分離する内際分離を実施し、機能強化に取り組んでいるが、一方、庄内空港では実施されていない。庄内空港への国際チャーター便の受入拡大に向け、空港機能強化に向けた課題と今後の展望について

### 4 新型コロナウイルス感染症に係る県の指針・対応策などについて

## ◆県議会「農林水産常任委員会」での質疑事項(一部のみ抜粋)

○新年度当初予算(概要)における、中山間地域の農業・林業者への具体的な施策及び高齢者対策について(連合地協議員懇談会2/14の課題提起)。

○農業農村整備事業の「国営かんがい排水事業(公共)」の考え方並びに国営かんがい排水事業予算を活用したモデル事業(国費100%)について。

○新年度における農林水産分野の検査強化費について。

○令和元年度山形県一般会計補正予算(農林水産部所管)における、繰越明許費に計上した事業の入札不調、技術者不足等の主な要因等について。

## ◆議会レポートあとがき

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、観光客の減少、学校関係、各種イベント開催などの自粛など、そして輸入・輸出の停滞が続いており、日本国内及び山形県内の経済面に大きく影響を及ぼしている状況です。

2月上旬に感染症拡大が懸念される中、県議会県政クラブ会派において、対策本部を立ち上げ、県内各地の状況調査(鶴岡市含む)を実施しました。その後、山形県の飲食店組合、県観光協会など、県執行部を含めヒアリングを行い、県知事へ「**県内企業支援策の要望書**」を提出するなどの対応にあたってきたところです。特に観光と飲食業への影響は大きく、タクシー業なども悲鳴をあげている状況です。

県では、日本国内の感染症拡大の状況を踏まえ、早急に「新型コロナウイルス関連感染症対策会議等」を開催し、対策本部の設置や医療体制の整備、情報収集などを行ってきたところです。また、政府からの要請等を踏まえ、県民の全ての皆さんが困惑・苦しんでいることから、**県知事からの情報発信は勿論、全国県知事会との連携により政府等に要望を行っています。**

各小中学校等も休業期間の長期化によって児童生徒の生活や学習、部活動中止などの環境変化に戸惑いとストレスを抱えています。感染拡大防止策や経済政策は最重要課題ではあるものの、**政府からの出口戦略にかかる指針・ガイドライン**を早急に示していただきたいものです。